

COVID-19とアフリカ

アフリカビジネスについて
再び考える

JETROアジア経済研究所

上席主任調査研究員

平野 克己

世界におけるアフリカ

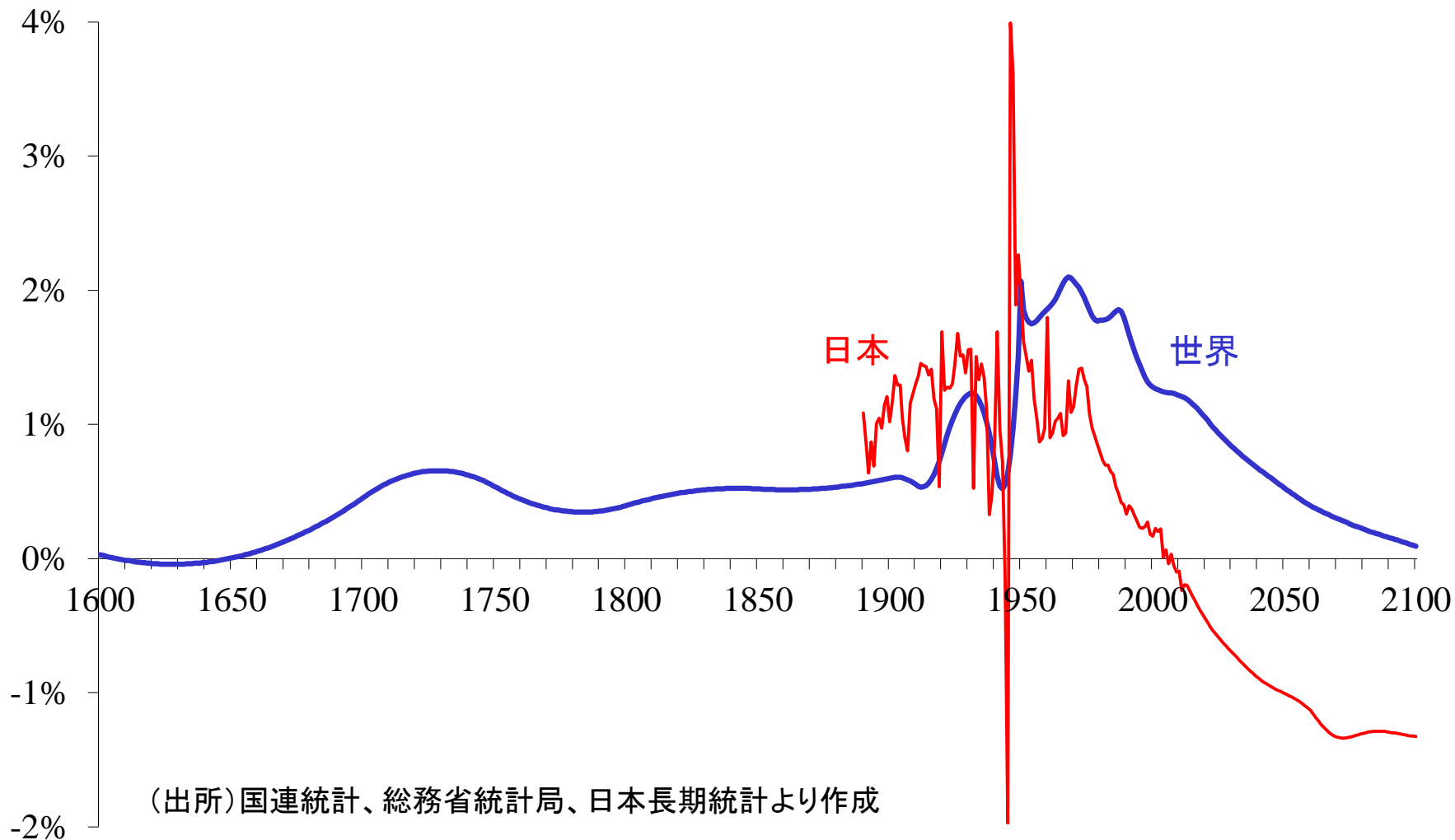
- アフリカはプレ先進国でも、プレ・アジアでもない
- ほぼ中国の勢力圏
- サブサハラ・アフリカだけが近代農業革命から取り残されている
- ゆえに人口転換がおきず、貧困人口も減らない
- したがって、アフリカ人の比率が恒常的に増加し、人類は“アフリカ化”していく

ODAはもつか、食糧供給は？

中国のアフリカ政策は耐えられるか

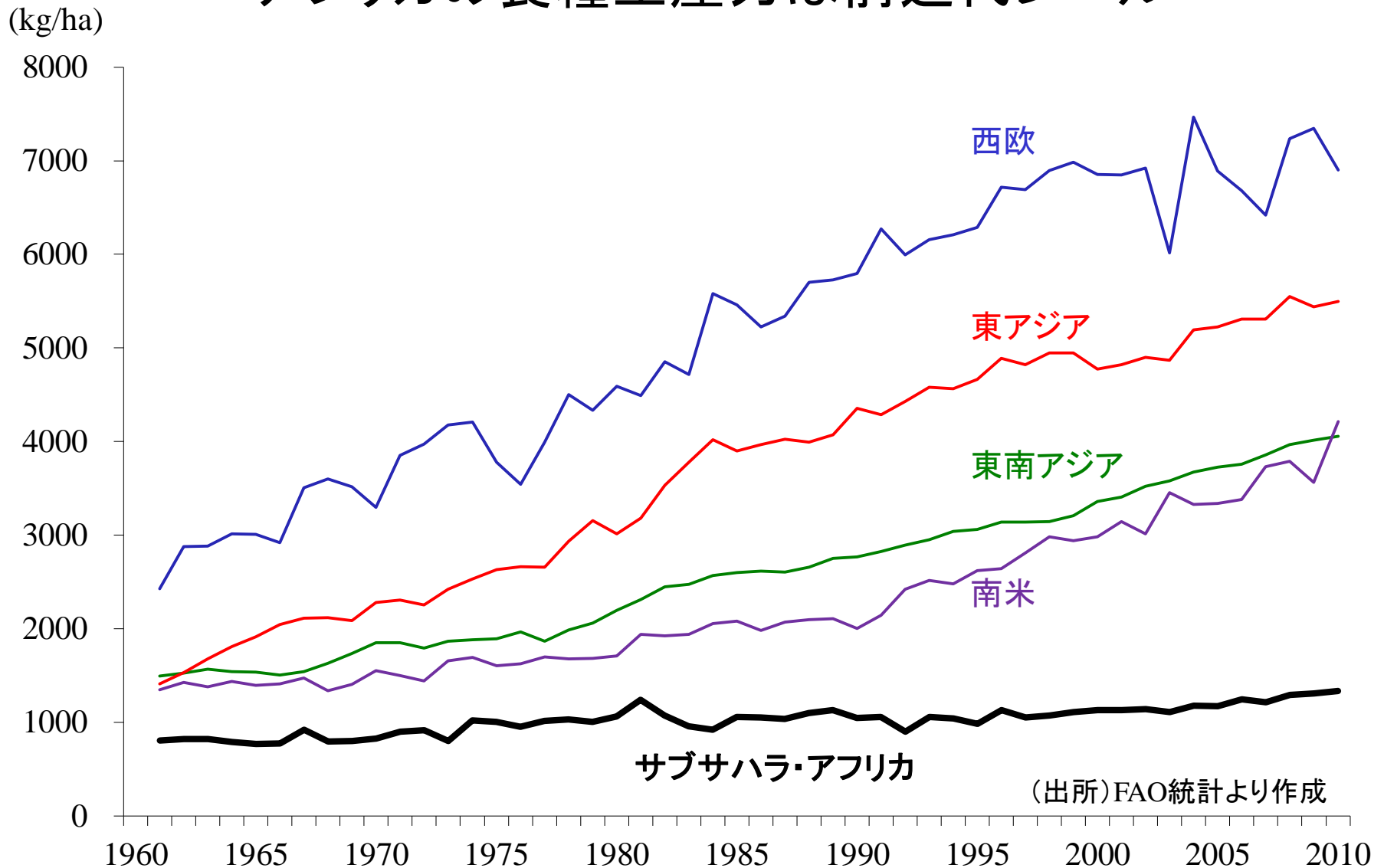
世界と日本の人口増加率

人口転換の終了



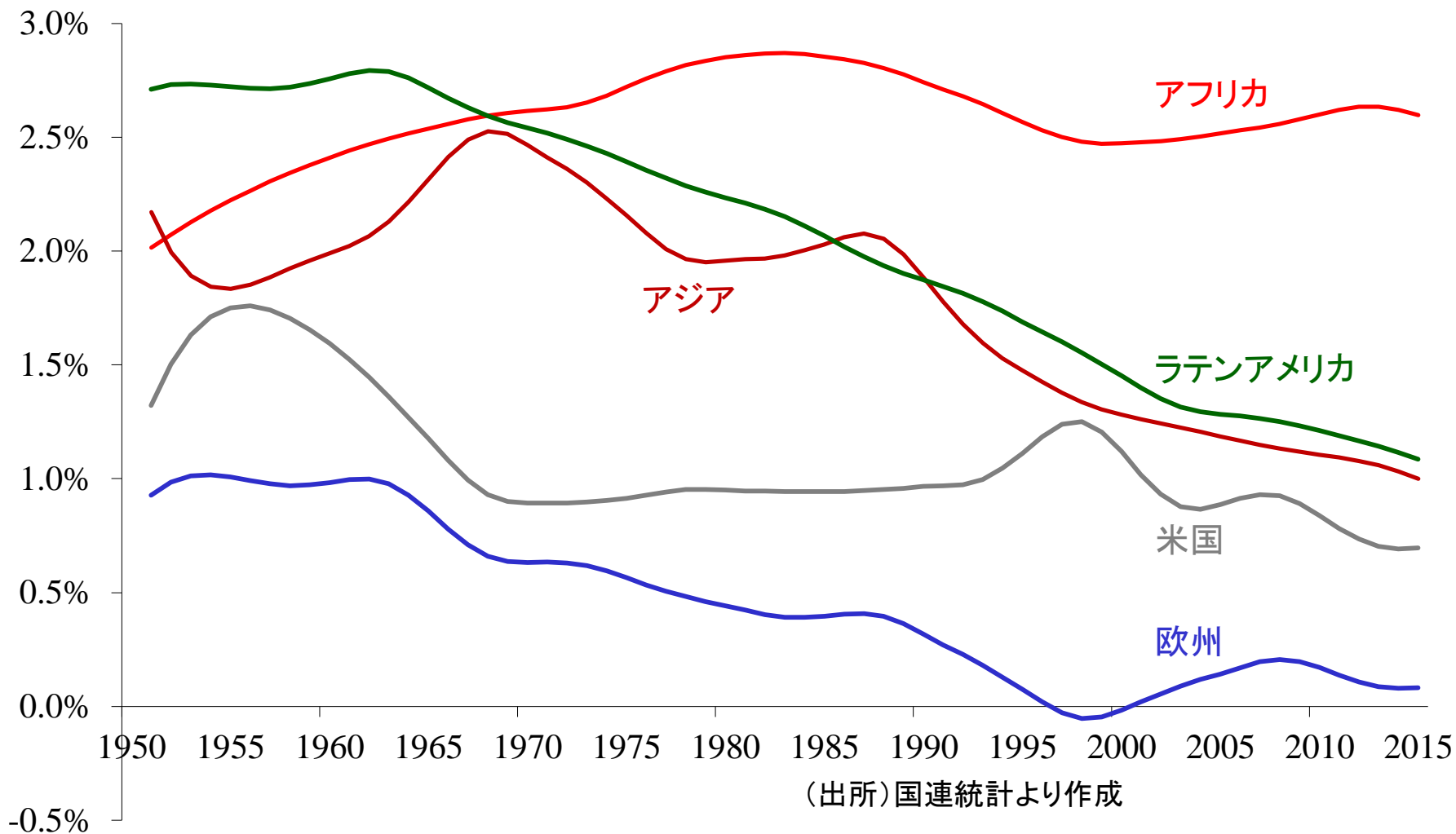
世界各地域の穀物生産性

アフリカの食糧生産力は前近代レベル



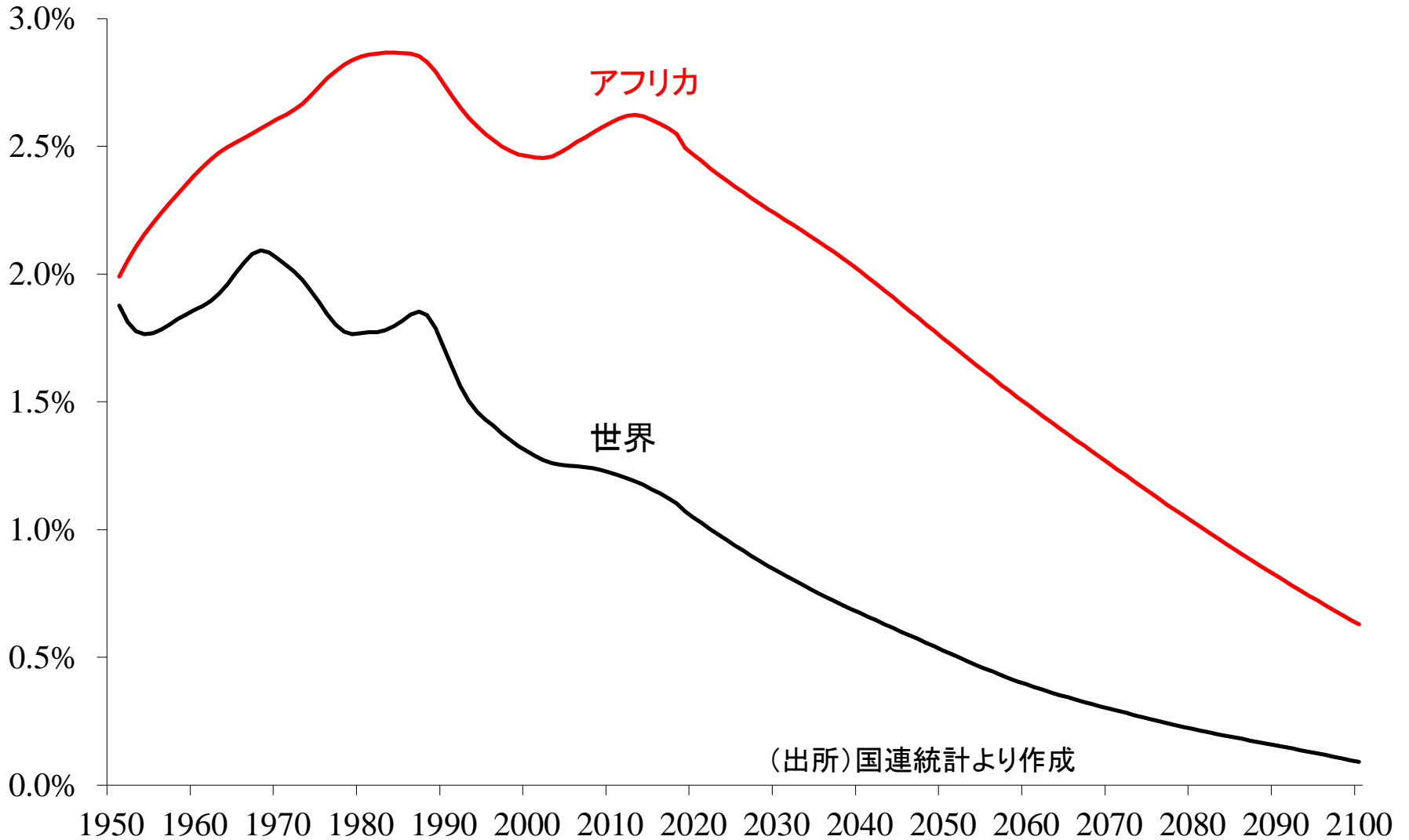
人口増加率

アフリカだけが人口転換を経していない



人口増加率予測

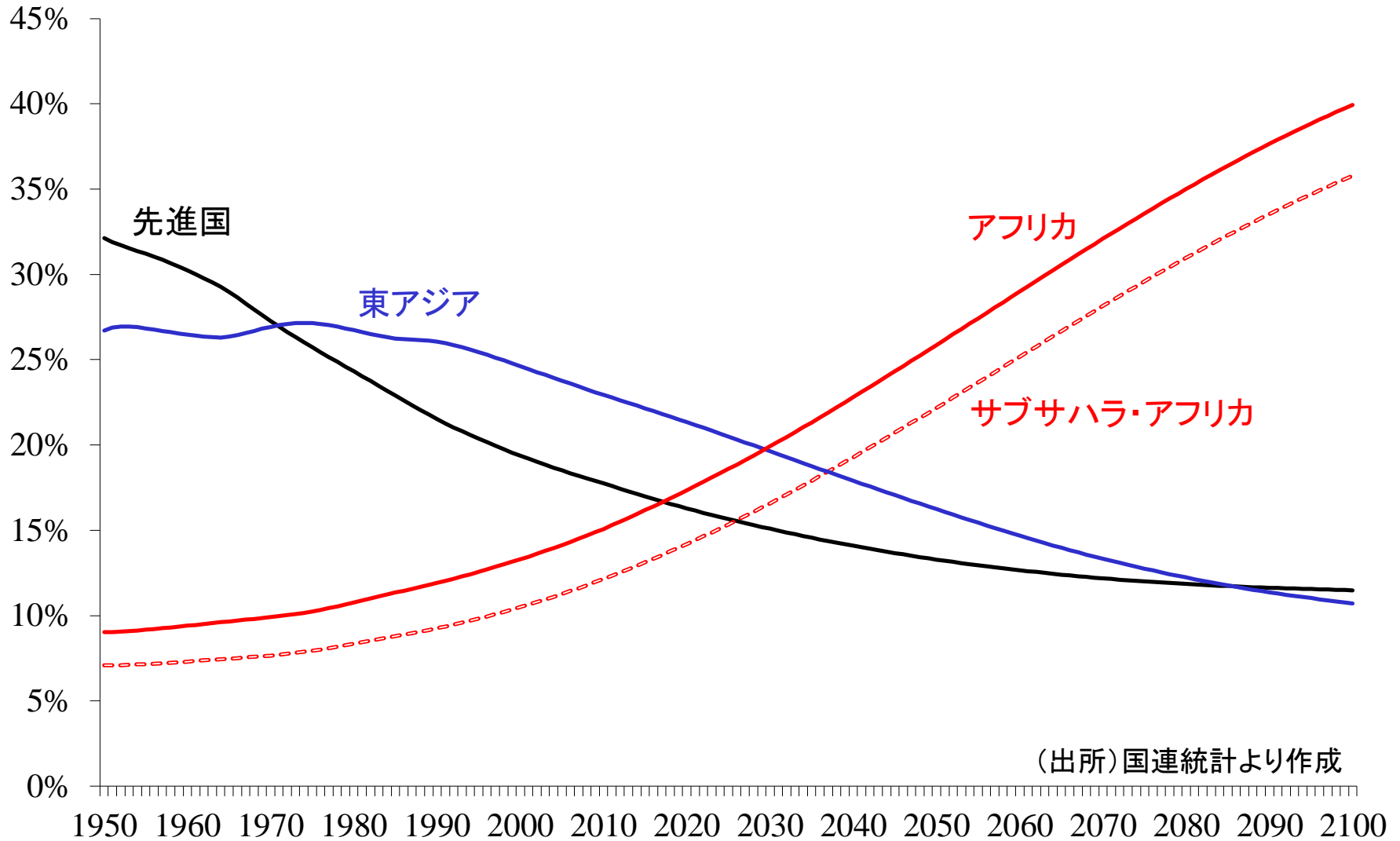
アフリカは人口転換するか



(出所)国連統計より作成

人口比予測

人類の“アフリカ化”

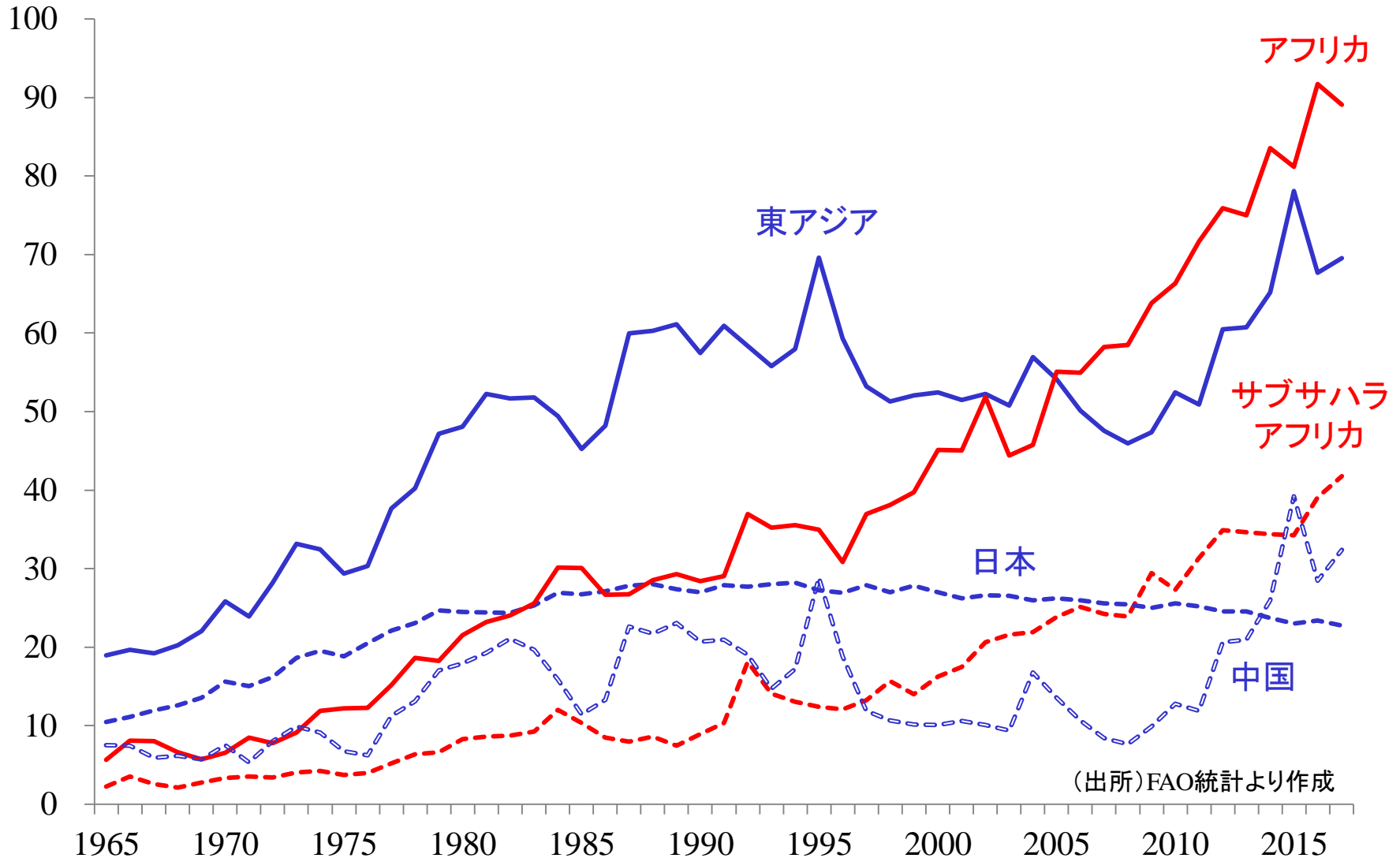


(出所)国連統計より作成

東アジアとアフリカの穀物輸入

日本及び東アジアの食料安全保障

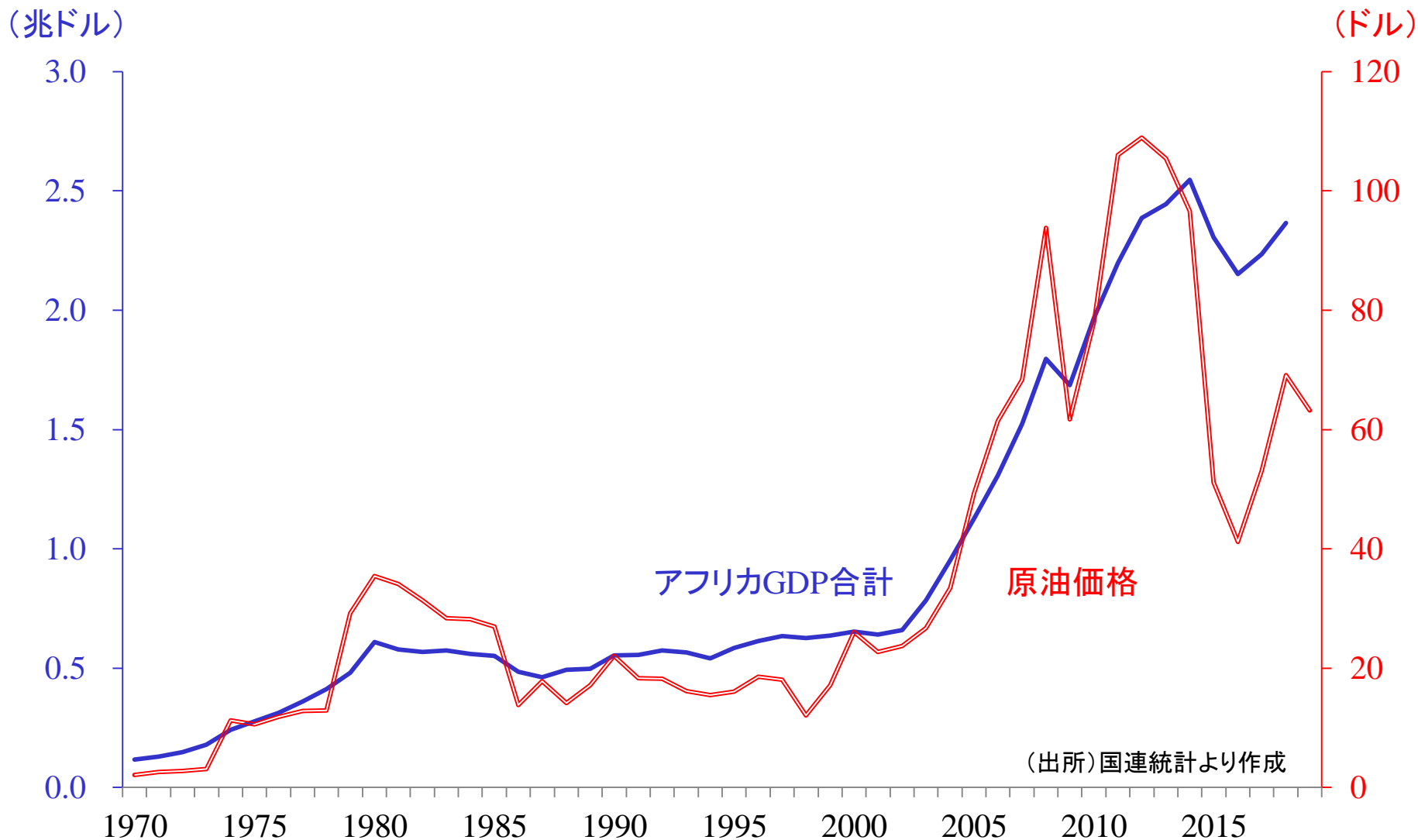
(百万トン)



(出所)FAO統計より作成

アフリカ総生産と資源価格

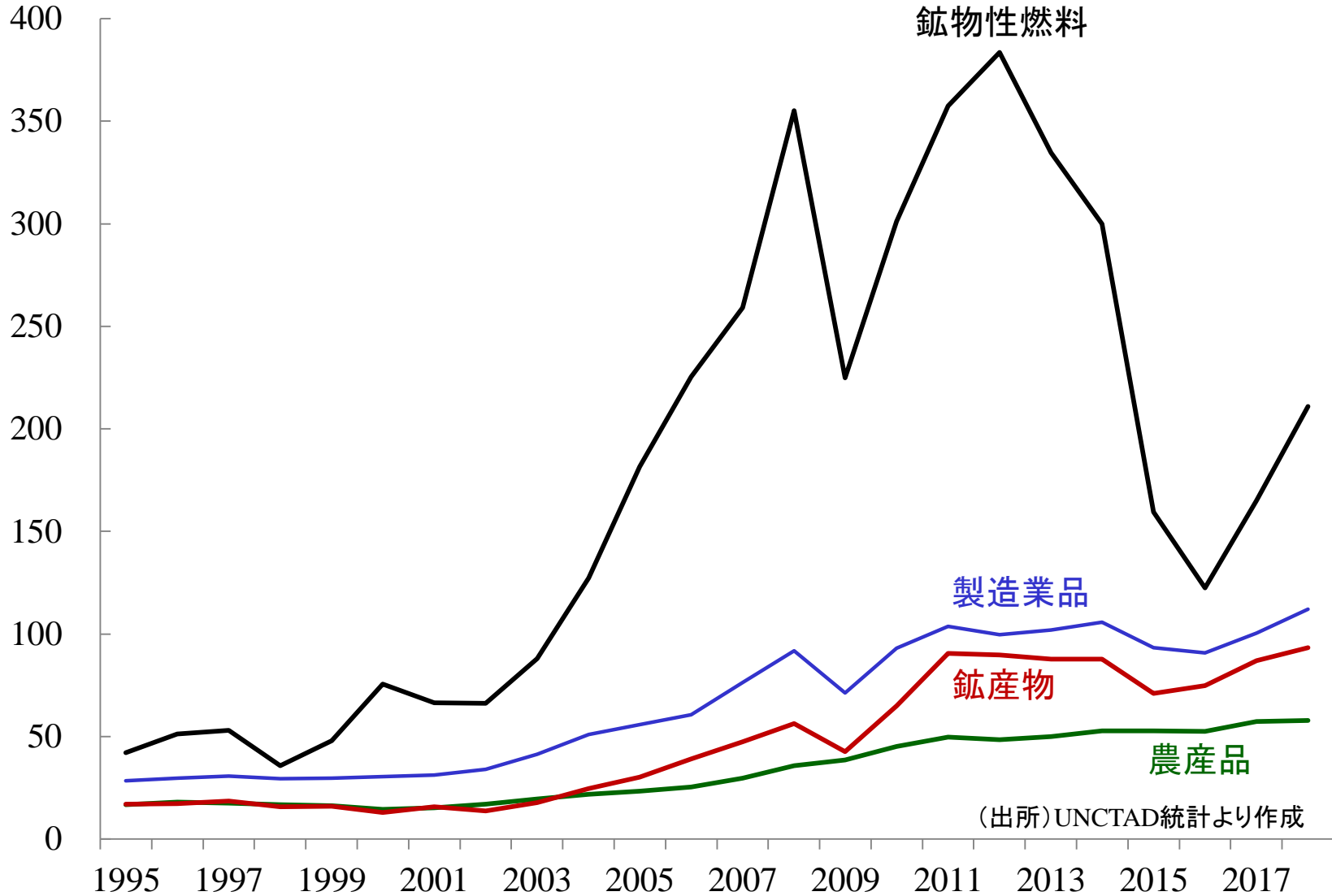
アフリカ経済はどうやって成長し、停滞するか



アフリカの輸出

原油依存

(10億ドル)



(出所) UNCTAD統計より作成

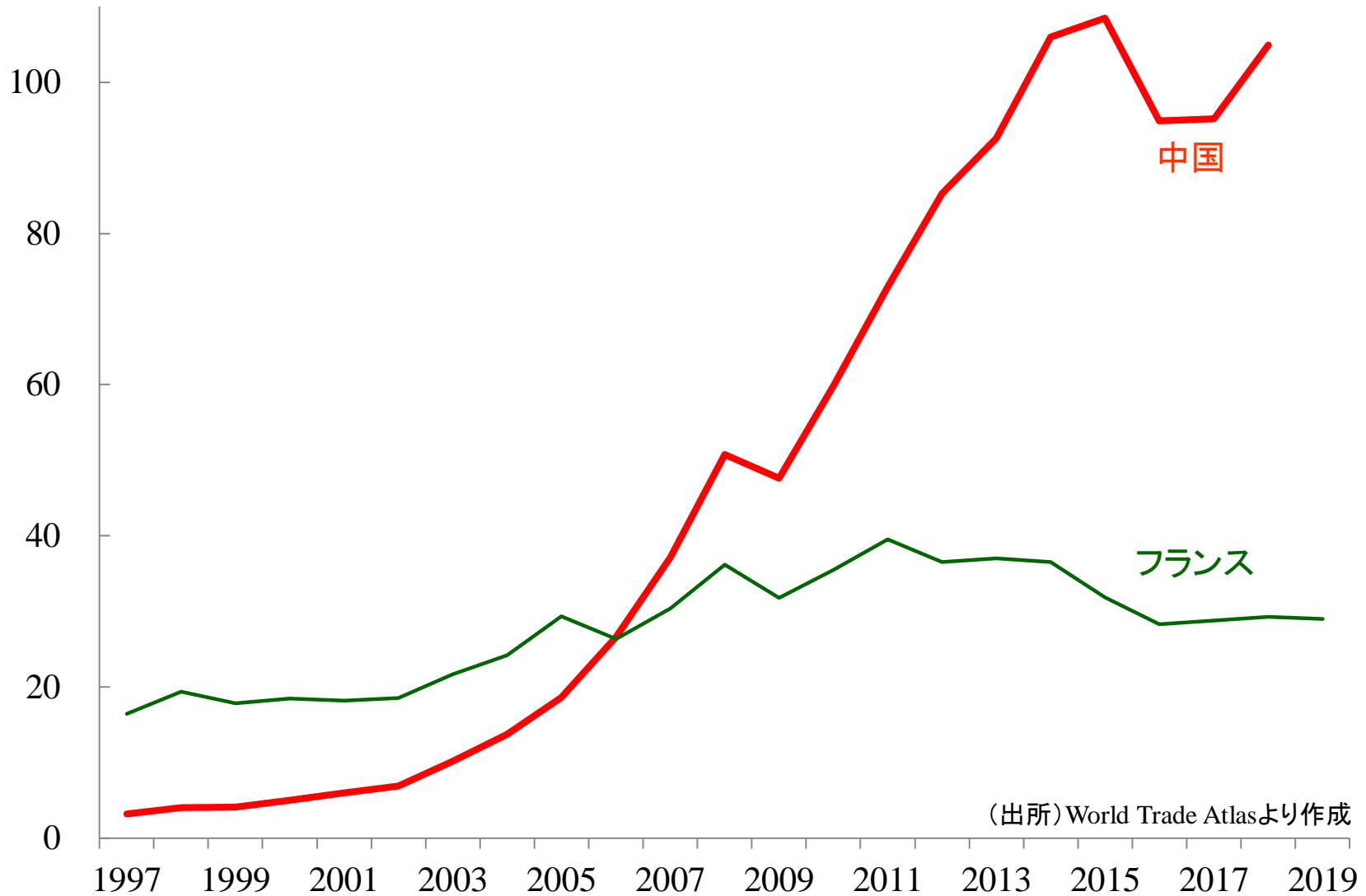
日本とアフリカの経済関係

- 対アフリカ貿易投資における日本のプレゼンスは縮小の一途
- 経済関係の衰退はアフリカの問題ではなく、日本
の問題である
- それは日本経済全体の退潮と同期している
- アフリカで儲けられるビジネス体質をつくることは、
日本経済の再生につながる

対アフリカ輸出

中国の独走

(10億ドル)

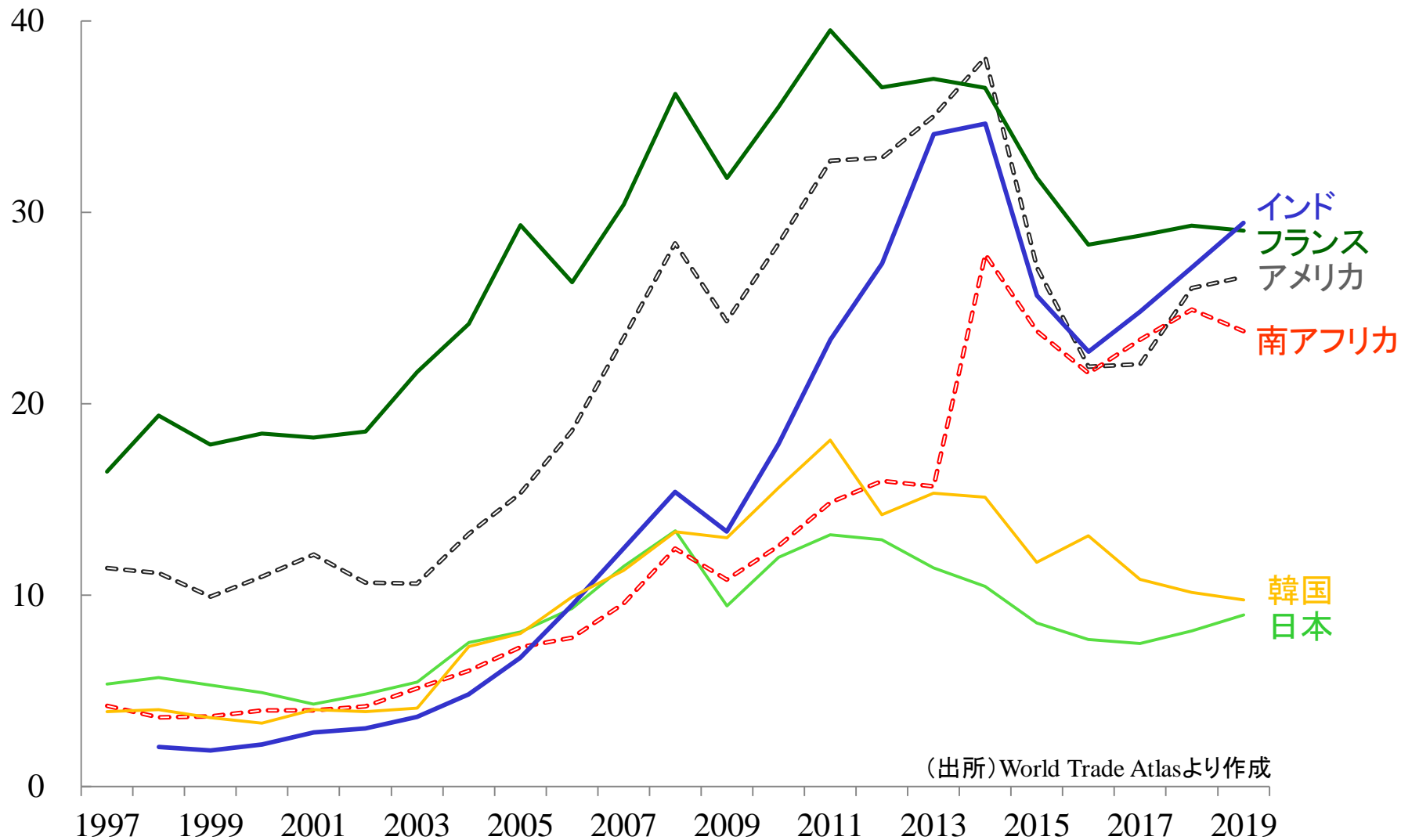


(出所) World Trade Atlasより作成

対アフリカ輸出

日本の退潮

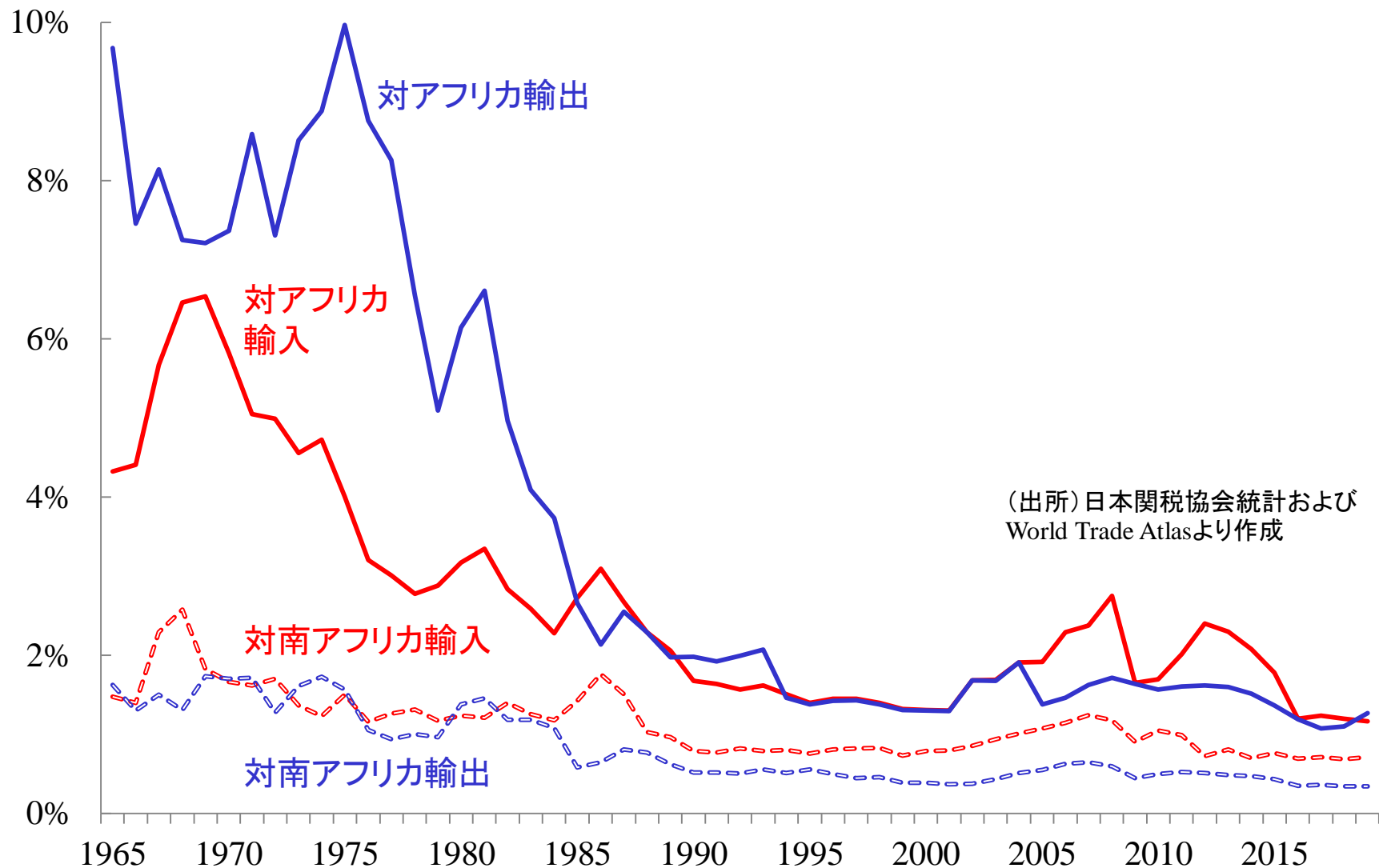
(10億ドル)



(出所) World Trade Atlasより作成

日本の対アフリカ貿易比率

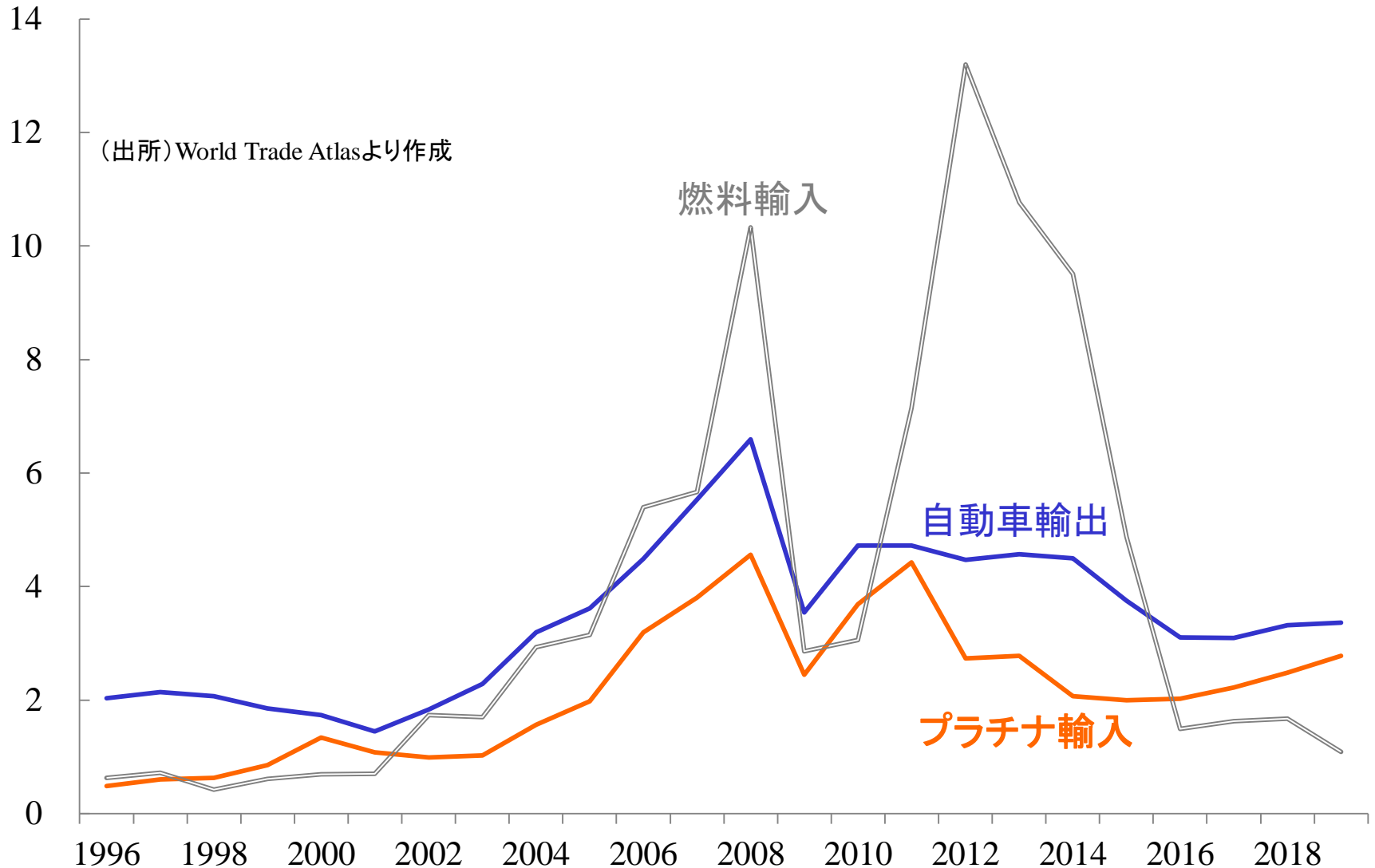
輸出入総額に占めてきたシェア



日本アフリカ貿易の主要品目

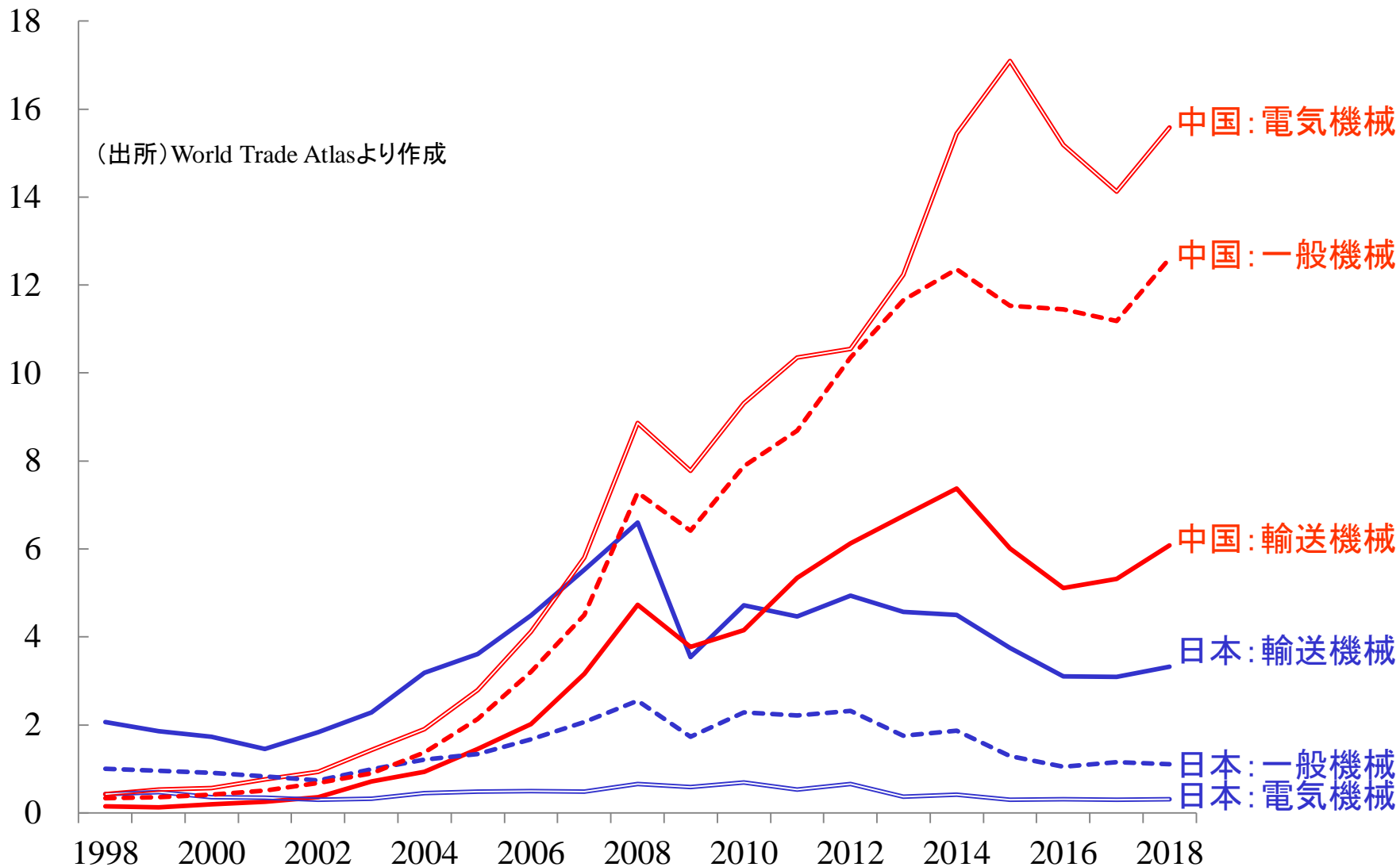
自動車一本足打法

(10億ドル)



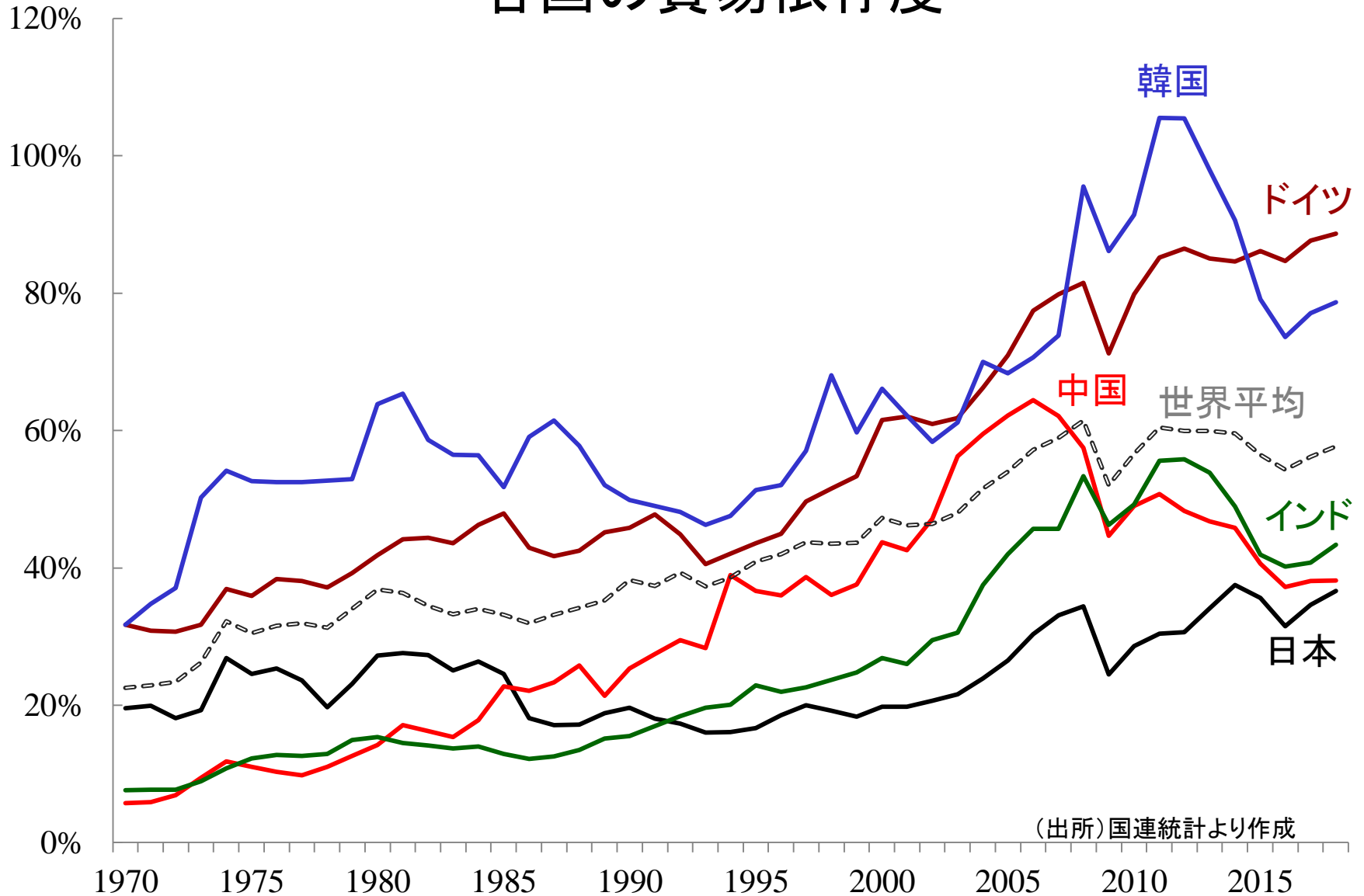
日中の対アフリカ輸出比較

(10億ドル)



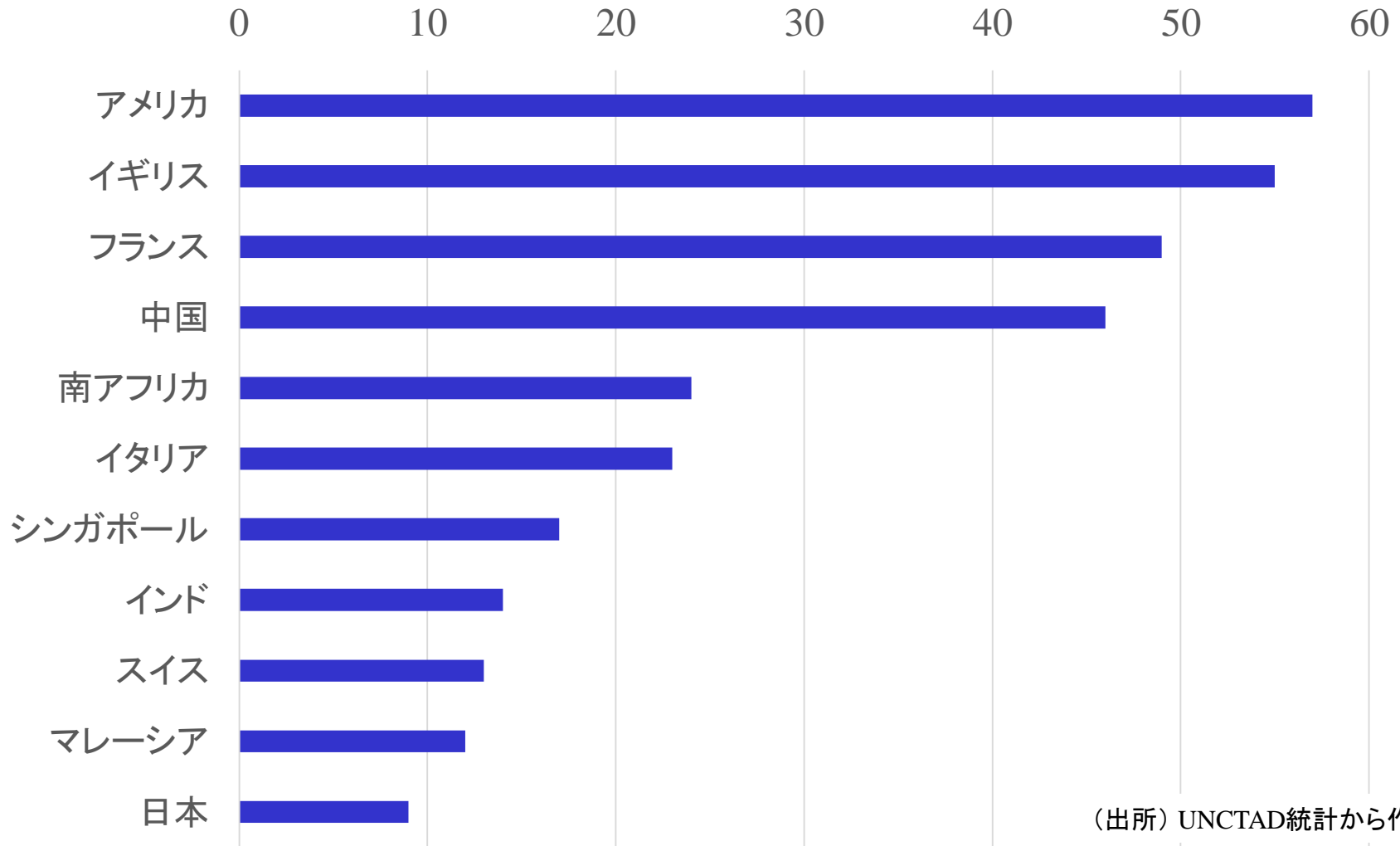
日本経済の閉鎖性と低成長

各国の貿易依存度



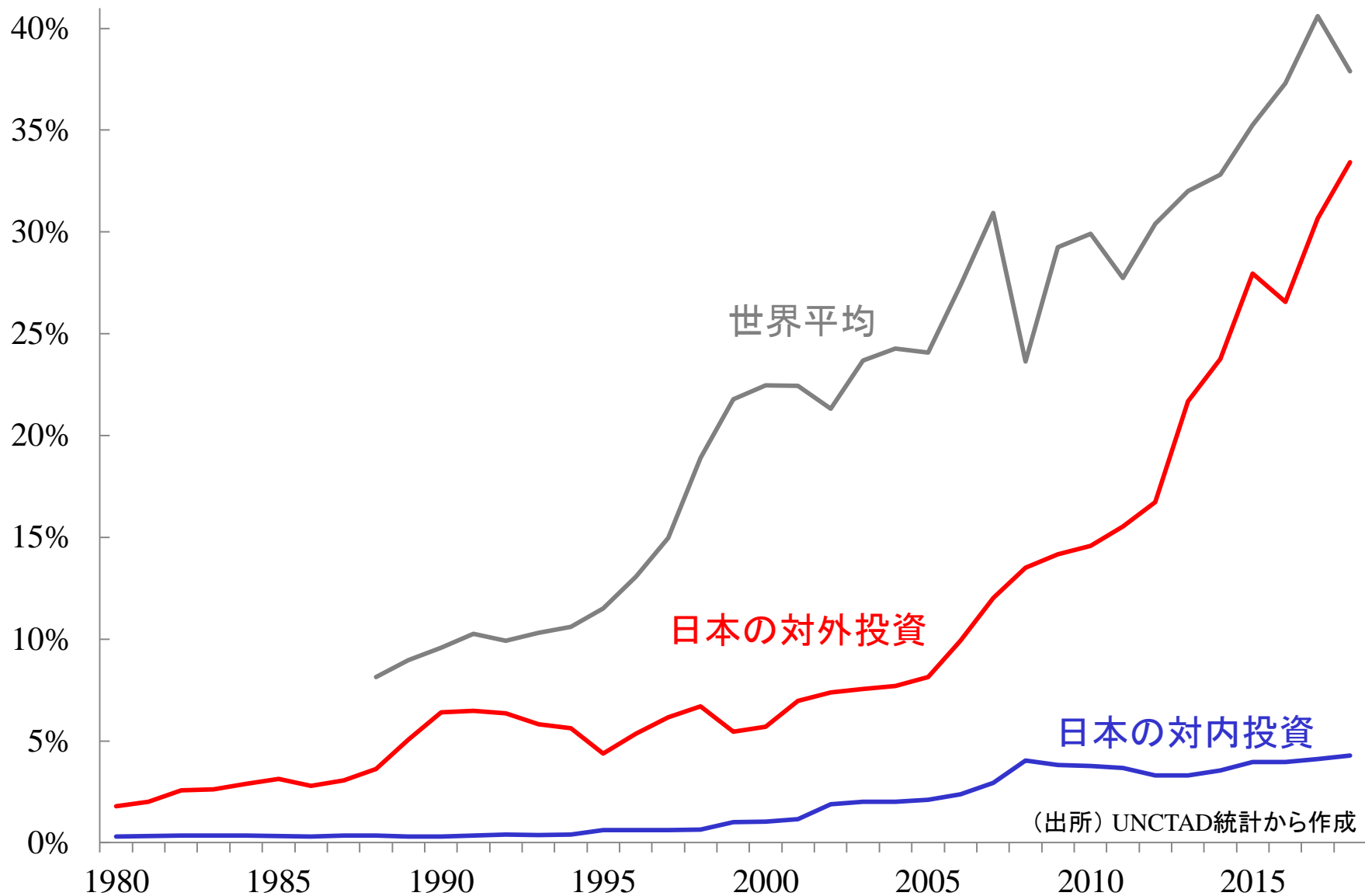
(出所)国連統計より作成

対アフリカFDIストック額 (2016年、10億ドル)



(出所) UNCTAD統計から作成

FDIストックの対GDP比



輸出先配分

(2017, %)

	日本	世界
アジア	58.5	36.7
中国	19.0	10.0
ASEAN	15.2	6.8
北米	22.3	15.7
アメリカ	19.4	13.2
欧州	12.4	37.2
アフリカ	1.1	2.9

(出所) UN, World Trade Atlas

FDIストックの配分

(2017, %)

	日本	世界
アジア	27.7	24.9
中国	7.7	4.7
ASEAN	13.2	6.9
北米	32.6	28.2
アメリカ	31.6	24.8
欧州	27.1	34.7
アフリカ	0.5	2.7

(出所) UNCTAD, Bank of Japan

日系企業の世界分布

(2017, %)

	拠点数	駐在員数
アジア	70.0	62.1
中国	42.8	25.7
ASEAN	16.6	30.5
北米	12.5	20.2
アメリカ	11.4	19.3
欧州	7.7	10.3
アフリカ	1.1	0.5

(出所) 外務省『在留邦人数統計調査』平成30年

グローバル企業のアフリカ展開

- 輸出

機械類、石油製品、医薬品、食品⇒穀物

北アフリカ市場(エジプト、モロッコ、アルジェリア等)

- 欧米資源企業⇒再生可能エネルギー

- ビジネス金融サービス⇒銀行、PEF

- 通信⇒携帯電話プロバイダー、ITサービス

- 建設業

- 旺盛なクロスボーダーM&A

日本企業の課題

- 輸出力と収益力の向上

BOPビジネス手法の復活

新しいビジネスの創造

ex. インフラシステム輸出、アグリビジネス、水ビジネス

世界展開強化による競争力の獲得⇒規模の拡大

- そのためのリスクとコストを引き受ける
- グローバル企業としての corporate identity

Africa Rising の真実

- 今世紀初頭資源ブームのなかで、内外資あわせ企業密度が増し、民間経済活動の比重が各段に大きくなった
- これまでアクセスできなかった貧困層市場へのビジネスアプローチが可能になった
- パンデミック下で重要性を増すIT対応力

COVID-19の衝撃

- アフリカは死亡者数を把握できない
- 低所得国はロックダウンに耐えられないので、市場は早く開かれるだろう
- 感染症と共存してきたアフリカ
マラリア死亡者35万人、エイズ関連死65万人

鍵を握るアフリカのICT

- アフリカ人起業家を育んだ携帯電話業界
ボダフォンとDFIDがつくったM-PESA
南アMTNの急成長
モ・イブラヒムと印エアテル
ストライブ・マシイワのエコネット・ワイヤレス
- 中国勢: Huawei, ZTE, Transsion
- アフリカ海底ケーブル

アフリカ進出の戦術

- 日本の弱さをしっかり認識し、アフリカ進出を弱点克服にむすびつける
- 日の丸に拘らない
 - 第三国連携（英米仏、インド、トルコ等）
 - アフリカ内第三国連携（南アフリカ、モロッコ等）
- 日本人に拘らない
 - グローバル人材の登用
 - M&Aを含む果敢な投資

国家と企業の未来

- パンデミックで内向きになる国家と、それでもグローバル化が進む企業とが乖離する
- アフリカでは国家システムが貫徹していない
- あたかも東インド会社のようなアフリカ越境企業が強大化し、集約化が進む
- アフリカ市場において先進国企業はもとより新興国企業、とくに中国企業の能力が試される